

## セルフモニタリング報告書(令和4年度分)

令和5年 4月 18日

**施設名**            沼ノ端交流センター  
**指定管理者名**   シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社  
**所管課名**         健康こども部青少年課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	図書コーナーで実施できていなかったイベントがあったため、来年度は計画に沿った運営を行ってまいります。児童センター・交流センターでは新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きをみせたことから、一部内容変更したものもありますが、ほぼ計画通りの実施運営を行うことができました。	A・ <b>Ⓑ</b> ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	/	A・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	トピリカ学級の継続的な実施や、マイナンバー窓口など、施設内で幅広い年代の用途に応じた使い方をさせていただいております。 ただ、児童センターや図書コーナーはまだ認知度が低く関心のない層にはどのような場所かわからない方もいると思われるのでよりわかりやすく交流センターの名にふさわしい交流イベント等を計画していきたいです。	<b>Ⓐ</b> ・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	令和4年度の自主事業計画は都合により開催できなかったものもありましたが、それに代わるイベントを実施いたしました。 ほくほくクッキングの代わりに実施した日本ハムによる飾り切り教室など、初めて児童センターでやるイベントなども実施し、多くの方に楽しんで頂けました。	A・ <b>Ⓑ</b> ・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	今年度も北栄町内会館の一面として、沼ノ端交流センターは町内会長様をはじめ多くの役員の皆様と一緒に会場設営、運営を行っております。今後も、町内の皆様の現在の問題点や課題・運営方法を話し合い、より良い施設になるようにご支援	A・ <b>Ⓑ</b> ・C・D・E

	を賜りながら運営を行っていきます。また、地域の方のご協力によるイベントなども継続して実施していきます。	
<b>2. 利用者の満足度</b>		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートでは、全ての項目で高い評価をいただきました。慢心することなく頂いた貴重なご意見を参考に、これからの施設運営をよりよいものにするべく邁進してまいります。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者のご意見・ご要望は各施設の受付カウンター前にご意見箱を設置し各担当者が日々確認し都度、館長に報告、その後四半期ごとに対応をまとめて館内に掲示しています。また、年2回のアンケート実施による意見の把握を行い、都度対応を行っています。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からのご意見・ご要望・苦情は即座に対応しその後、青少年課の担当者に報告、事故等の重要案件は職員全員が周知できるようにしております。 頂いたご意見についてはその後の対応とともに館内に掲示し、誰の目にもわかりやすいようにしております。	Ⓐ・B・C・D・E
<b>3 管理運営の効率性</b>		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	消耗品等の使用については、必要最低限のものとして日々経費の低減を図っています。交流、図書、児童共通で使用できるものはまとめて購入するなどして無駄な出費を抑える努力を行っています。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	再委託につきましては、清掃・外観管理・設備保守点検等を外部に委託しております。清掃に関しては当初の清掃箇所と運用後の清掃箇所を変更し利用者が多く使用する箇所は頻繁に清掃し利用頻度の低い箇所は清掃回数を減らすなどの提案を清掃業者と話し合い職員で出来る清掃は自分たちで行うようにしております。	Ⓐ・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	収入につきましては、昨年度より約30万円以上の増加となりました。今年度はInstagramを稼働し、知名度の向上を図っております。また、必要備品の貸し出しや部屋の事前準備など、利用者の皆様が快適に利用していただけるような工夫を行っています。	Ⓐ・B・C・D・E

4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理体制は児童センターはセンター長を中心に、最終責任者とし館長を配置しております。年度内に職員の増減はありましたが適正な管理体制を行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	児童センター職員向けには、動画配信によるオンライン研修を行いました。効率的に空き時間を利用して研修を行うことができいております。その他にも、胆振総合振興局森林室による木育研修など幅広い研修を行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	当館は北栄町内会の町内会会館も兼ねており、北栄町内会の会合や打ち合わせの使用時は減免になる為、年間スケジュールを町内会に提出して頂き管理しております。また、苫小牧市学校適応指導教室としてトピリカ学級を開設しておりますが、こちらも年間スケジュールを苫小牧市教育委員会に提出いただき管理しております。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	当社は全職員に対し、入社時に個人情報の講習を行っております。また会社全体でプライバシーマークを取得しており利用者の個人情報保持の為、管理しております。また日頃利用する個人情報は児童センター事務所内の鍵のかかるロッカーで管理・保管しております。	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	利用者からの施設利用料については交流センター管理室内で受け取り後、館長の管理・入金後、札幌営業所の所長が最終確認しております。多くの職員が管理することにより、不適切な会計処理が起きない様にしております。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検及び定期点検は外部委託業者が管理しておりますが、本来行わなくてはならない点検業務を怠ってしまっていたものが発覚いたしました、これにつきましてはすぐさま外部業者に委託契約を行い、今年度については保守点検をすぐに実施してもらうようにいたしました。	A・B・◎・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類・備品等については定期的に見直しを行い、不必要なものは処分し安全性に問題がある備品があれば随時入れ替えを行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	安全対策については、万が一事故が起きた時の対応方法・対処方法を職員研修で行っております。発生の危険性が高い児童センター内遊戯室にお	Ⓐ・B・C・D・E

	いては、小学生来館時は必ず 2 名以上の職員を配置するなど、適切な対処を行えるよう定期的な巡回や見守りを行うことで事故防止に努めております。	
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	全社共通の就業規則を元に職員研修を行い、全職員がコンプライアンスを重視した、管理・運営を行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては全職員が苫小牧在住で、多くの職員が地元出身者です。資材の調達・再委託も地元の業者を中心に行っております。 今年度はトピリカフェスティバルで地域の中学校の合唱部のステージ発表を行ってもらうなど地域に根差した活動を行うことができました。	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。  
 B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。  
 C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。  
 D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。  
 E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

### 指定管理者の自己評価(全体を通して)

今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できていなかったイベントの多くを実施することができました。特に、トピリカフェスティバルではステージ発表だけで150名、参加人数は500名以上と過去にない規模のイベントとなりました。他にも、児童センターや図書コーナーそれぞれの自主事業で来館者を増やす取り組みを行ったことで目新しいだけでなく定期的に来たいと思っただけのような施設運営を行うことができました。

また、苫小牧市教育委員会指導室の皆様と協力したトピリカ学級の継続実施、苫小牧市 ICT 推進室の皆様と協力したマイナンバー窓口の継続実施など市民の皆様にとって利便性を高める事業を行うことができました。これも健康子ども部青少年課の方々をはじめ、多くの方々にご指導を頂いたおかげです。今年度は契約最終年度ではありましたが、今までの事業・取組を評価いただき来年度以降の5年間も私共がこの沼ノ端交流センターの管理運営を行う契約を頂きました。

期待に応えるため、全国企業としてのオンラインのノウハウを活かした取組や、地域に根差した活動を行ってまいります。そのために、健康子ども部青少年課の皆様をはじめ、苫小牧市役所の皆様のお力添えを、何卒よろしくお願い申し上げます。